

令和 5 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日（5 年間）
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
指定管理者として適切に施設を管理しており、ここ数年、経営は好調を維持している。昨年度に続き売上高 5 億円を越えているなど経営状況は優良と評価する。 事業内容としては、農産物直販施設及び特産品展示販売施設は、地元農産物等の販売拠点として地域経済の向上や安定的な商品を提供しており、パン工房は玉野産朝日米の米粉を使用した食パンやメロンパンが好調で、ソフトクリーム用番田産紫いもの委託生産も順調に数量を伸ばすなど、売上増加に大きく貢献している。また、賑わい創出のために始めた駅前マルシェやキッチンカー受け入れも、集客に繋がっている。	S

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A（良 好） 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B（課題含） 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C（要改善） 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【安全性の確保】 施設の修繕や、施設内の定期的な巡回を行い、防犯カメラ増設や夜間警備による警備強化が図られるなど、利用者の安全確保は良好である。 【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 【利用状況】 農産物直販所、特産品展示直売所、パン工房ともに来客数は増加しており利用状況は良好で、消費者にとって魅力的な施設となっている。 （来客数） 令和5年度 農産物 283 千人、特産品 106 千人、パン工房 79 千人 令和4年度 農産物 288 千人、特産品 111 千人、パン工房 78 千人 【コスト削減への方策】 人事評価制度の導入や従業員教育により、従業員の働き方を改善することで離職率が下がるなど、コスト削減に取り組まれている。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
地域食材提供施設の利用者変更を行い、更なるサービス向上に取り組まれている。	S
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
平成28年度から8期連続で売上増となり、総売上高も昨年度に引き続き5億円を突破している。2期連続で最高売上高を更新しており、経営状況は優良と評価する。	S

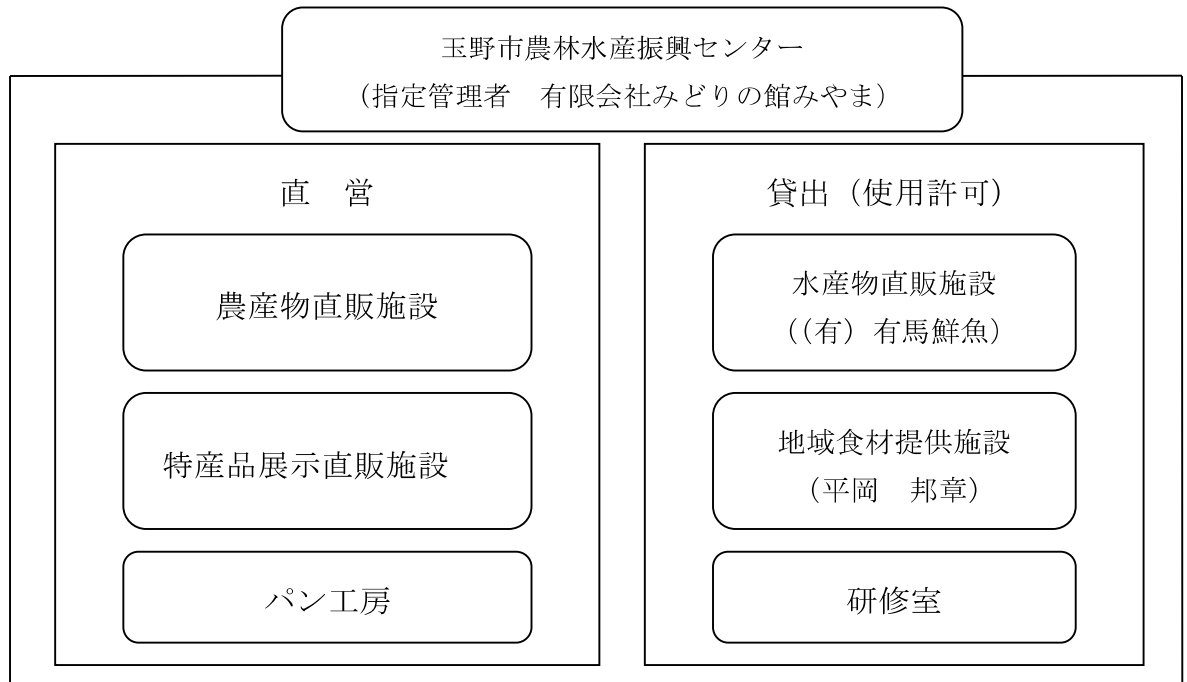
■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	16	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	10	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	6	トイレ等清掃
計		44	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施設解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施している。

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可（公募結果 12 月まで利用）
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1 件（有限会社有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	2 件（平岡 邦章 令和 5 年 4 月～12 月） （合同会社温故知新 令和 6 年 3 月）
研修室	使用許可	41 件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

栽培講習会（野菜・花・果樹） 8 回開催 参加者のべ 206 人

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	36,000 円
水産物直販施設	4,800,000 円（400,000 円×12 月）
地域食材提供施設	2,310,000 円（220,000 円×9 月、330,000 円×1 月）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	68,000 円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	-----------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

地域食材提供施設の公募を行った。高騰する電気代の消費節減に努めた。従業員の接客マナー向

上に努めた。

VII その他

第 26 期

経 営 状 況 説 明 書

—— 内 容 ——

1. 令和 5 年度決算の状況
2. 令和 6 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和 5 年度

決 算 の 状 況

目 次

I .	令和 5 年度 事業報告書	-----	3
II .	令和 5 年度 決 算 書		
(1)	貸 借 対 照 表	-----	5
(2)	損 益 計 算 書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製 造 原 価 報 告 書	-----	8
(5)	監 査 報 告 書	-----	9

I. 令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 事業実施状況

令和5年度は、桜の満開時期が早くあっという間に季節が過ぎていったが、その後の人流はコロナ前に戻り玉野市内でも多くのイベントが開催された。宇野港周辺では外国人観光客の姿も多く見かけるようになった。食の安全と生産農家の意識向上のために取り組みを始めた残留農薬自主検査も、様々な意見を参考にしながら無事1年が経過し、農産物出荷者向けの栽培講習会には多くの参加者があった。

また、昨年度整備したキッチンカー販売スペースは、11店舗の利用申込があり、1日最大5台の出店車両を受け入れた。行列の出来るカレー屋（駅前マルシェ）と併せて地元の食を提供することで、来店目的の1つの柱に成長した。

令和5年度の総売上額は、518,173千円（対前年度比+2,921千円、100.5%）で微増だったが、平成28年度から8期連続で売上増となり、総売上高も昨年度に引き続き5億円を突破し、2期連続で歴代最高売上高を更新した。当期は1,976千円の営業黒字を計上し、経常利益は2,034千円となった。

(1) 農産物直販施設

新規登録者の出荷物が多様で、野菜や果物の入荷量が順調に増えている。高齢による退会者が多いなか、新たに23人が登録したが、総数は2人減となった。

売 上 額：346,278千円（対前年度比 2,769千円 100.8%）

来 客 数：283,916人（対前年度比 -4,778人 98.3%）

登録者数： 407人（対前年度比 -2人 99.5%）

(2) 特産品展示直売施設

新規登録者は2名だが、弁当や食品を販売して売上に貢献した。なお、事業の廃業や撤退をする事業者が増加傾向にある。

売 上 額：113,126千円（対前年度比 -2,620千円、 97.7%）

来 客 数：106,201人（対前年度比 -4,957人、 95.5%）

登録者数： 94人（対前年度比 -2人、 97.9%）

(3) パン工房

玉野産米粉を使ったオリジナルパンが好調で、固定客も多くなっている。玉野産米粉加工用米とソフトクリーム用番田産紫いもの委託生産も順調に数量を伸ばしており、地域農業への貢献度も高くなっている。

売 上 額：58,768千円（対前年度比 2,772千円、105.0%）

来 客 数：79,612人（対前年度比 881人、 101.1%）

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、野菜・花・果樹等の栽培講習会を、備前広域農業普及指導センター等の協力により8回開催した。また、昨年度好評だった農薬とマスクのセミナー講習会は、外部講師をお願いして1日2回開催し、のべ206人が参加した。研修室の利用率は、ここ数年低迷している。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

令和5年度は、きめ細かいサービスにより売上を大きく伸ばした。

新鮮な瀬戸内の鮮魚を調理するサービスや、その場で焼きたてを提供する“名物焼きアナゴ”が手軽に購入できると好評である。

売 上 額：185,349 千円 （対前年度比 7,573 千円、104.3%）

(2) 地域食材提供施設

公募に伴う事業者変更で、12月末で閉店し、新店が3月にプレオープンした。

売 上 額：38,915 千円 （12月末まで 深山のカフェ食堂）

2,787 千円 （3月11日から みやまカフェ PUUT）

来 客 数：25,082 人 （深山のカフェ食堂）

2,801 人 （みやまカフェ PUUT）

2 役員に関する事項

（令和6年3月31日現在）

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
R 4. 5. 25	代表取締役	市 倉 勇 樹	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
R 4. 5. 25	監 査 役	池 上 茂	
R 5. 5. 22	監 査 役	大 西 英 利	

3 法人登記に関する事項

監査役 1名変更

4 職員に関する事項

（令和6年3月31日現在）

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	16	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	4	
パン工房	常勤職員	2	
	パート	10	
営農指導	常勤職員	1	
清掃部	パート	6	トイレ等清掃
計		44	

Ⅱ．令和5年度決算書

(1) 貸借対照表

令和6年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 98,639,172 】	【流 動 負 債】	【 46,590,794 】
現金及び預金	83,912,910	買 掛 金	2,957,220
売 掛 金	5,024,090	未 払 金	25,928,609
商 品	560,924	預 り 金	14,273,265
原 材 料	2,534,531	法人税等充当金	3,301,400
貯 蔵 品	4,697,733	商 品 券	49,000
立 替 金	0	未 払 法 人 税 等	81,300
未 収 入 金	1,842,424		
仮 払 金	66,560	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
【固 定 資 産】	【 64,011,668 】	退職給与引当金	1,500,000
(有形固定資産)	(60,658,334)		
建 物	20,974,684	負債の部合計	48,090,794
建物付属設備	29,112,878	純 資 産 の 部	
構 築 物	199,215		
車 両 運 搬 具	4,196,133	【株 主 資 本】	【 114,560,046 】
設 備 造 作	0	(資 本 金)	(3,000,000)
工具器具備品	6,175,424	資 本 金	3,000,000
(無形固定資産)	(1,993,334)		
ソフトウェア	1,993,334	(利益剰余金)	(111,560,046)
(投資その他の資産)	(1,360,000)	利 益 準 備 金	1,500,000
出 資 金	60,000	別 途 積 立 金	27,200,000
保 証 金	1,300,000	施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	48,360,046
		純資産の部合計	114,560,046
資産の部合計	162,650,840	負債及び純資産の部合計	162,650,840

(2) 損益計算書

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

科 目	金 額	
(経常損益の部)		円
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	123,870,950	
売上高（パン工房）	54,766,959	
販売委託料	48,911,136	
販売手数料	3,625,887	
受取管理料	8,500,917	
登録・会費収入	1,057,286	240,733,135
【売上原価】		
期首棚卸高	1,287,635	
商品仕入高	82,336,644	
当期製品製造原価	52,290,248	
合 計	(135,914,527)	
期 末 棚 卸 額	560,924	135,353,603
売 上 総 利 益		(105,379,532)
【販売費及び一般管理費】		103,403,251
営 業 利 益		(1,976,281)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息	240	
道の駅清掃委託金	2,096,000	
急速充電器管理委託料	1,037,329	
雑 収 入	357,333	3,490,902
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	3,427,493	
雑 損 失	5,456	3,432,949
経 常 利 益		(2,034,234)
税引前当期純利益		(2,034,234)
法 人 税 等		81,300
当 期 純 利 益		(1,952,934)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	71,500	円
給 料 手 当	39,557,459	
賞 与	9,356,480	
雑 給	677,675	
支 払 報 酬 料	1,314,000	
法 定 福 利 費	5,808,674	
厚 生 費	1,426,857	
減 価 償 却 費	7,997,940	
賃 借 料	2,546	
修 繕 費	6,523,073	
事 務 用 品 費	310,407	
消 耗 品 費	5,252,059	
水 道 光 熱 費	5,522,126	
旅 費 交 通 費	53,294	
支 払 手 数 料	1,649,687	
租 税 公 課	279,176	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	597,991	
通 信 費	392,927	
諸 会 費	78,225	
広 告 宣 伝 費	188,110	
新 聞 図 書 費	101,986	
荷 造 運 賃	287,540	
会 議 費	2,371	
清 掃 委 託 費	643,880	
車 輦 費	246,301	
研 修 会 費	47,410	
管 理 諸 費	3,892,988	
雑 費	98,243	
リ ー ス 料	3,052,500	
備 品 費	1,500,734	
地 代 家 賃	6,469,092	
合 計	(103,403,251)	

(4) 製造原価報告書

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

科 目	金 額	
		円
【材 料 費】		
期首原材料棚卸高	1,896,246	
原 材 料 仕 入 高	23,636,347	
小 計	(25,532,593)	
期末原材料棚卸高	2,534,531	22,998,062
【労 務 費】		
賃 金	14,937,009	
賞 与	2,664,825	
法 定 福 利 費	2,096,914	
厚 生 費	437,557	20,136,305
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	1,817,352	
消 耗 品 費	1,989,361	
旅 費 交 通 費	0	
減 価 償 却 費	599,388	
修 繕 費	158,500	
車 両 費	0	
保 険 料	29,412	
備 品 費	82,480	
事 務 用 品 費	13,147	
リ ー ス 料	3,704,400	
管 理 諸 費	383,980	
諸 会 費	360,000	
広 告 宣 伝 費	0	
マ リ ン pay 費 用	17,861	9,155,881
総 製 造 費 用		(52,290,248)
当期製品製造原価		(52,290,248)

監查報告書

令和 6 年 5 月 16 日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 市倉 勇樹 殿

監査役 池上 茂

大西 英利

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの、第26期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実認められない。

以上

令和 6 年度

事 業 計 画 の 概 要

目 次

I.	令和6年度 事業計画書	12
II.	令和6年度 予 算 書	13
	(1)販売費及び一般管理費内訳	14
	(2)製造原価報告書内訳	15
(参考)	売 上 高 の 推 移	16

I. 令和6年度事業計画書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

今年度は、4月に真夏日が訪れるなど、天候の変動が桜の開花にも大きく影響した。農産物の栽培管理においても、今まで通りの常識が通用しなくなっている。直売所の農産物入荷量や時期も大きく変動するため、運営には臨機応変な対応が必要となってくる。

2年目を迎えた農薬使用履歴の管理システムと残留農薬自主検査による食の安全に関する取り組みでは、生産者の農薬使用に対する意識も徐々に変化している。特に登録外農薬の使用は、ごく微量の残留農薬でも検知することから、栽培講習会や意見交換会を通じて営農指導に一層尽力をしていく。

また、昨年10月から始まったインボイス制度も予めシステム改修を行い、滞りなく業務が稼働している。昨年度公募を行った地域食材提供施設（レストラン）は、順調に営業を開始しており、新たな賑わい創出に期待している。

1. 農産物直販施設

販売登録者は高齢化による離農者が後を絶たないが、大口生産農家の新規登録が増加しており、農産物の入荷数量は現状維持できそうである。昨年度から地域直売所に先駆けて取り組んでいる、食の安全と農産物の品質向上プロジェクトは、出荷者・消費者双方に魅力的なサービスを提供する農産物直売所に必須である。

市場からの商品は、岡山県産にこだわった仕入を行っており、今後も消費者の購入機会損失に繋がらないよう適切な売り場管理を心がける。

2. 特産品展示販売施設

玉野市内の事業者や玉野市産特産品のPRを積極的に行いつつ、岡山県産にこだわった商品販売を目指す。

3. パン工房

玉野市産朝日米の米粉を使った商品が高評価を受けている。10月には5周年を迎えるので、新商品の開発を加速させ消費者にアピールしていく。

4. 研修室

昨年度は8回開催した栽培管理講習会を、今年度も同様に8回の開催を予定している。空調機器を一新したこともあり、広報誌を通じて広く市民に利用を促していく。

【参考】

・水産物直販施設

名物の“焼きアナゴ”を中心に、地物の新鮮で安価な魚介類や、その加工品の提供とともに、より一層親しみやすい売り場にする。暫く大幅な改装を行っていない売場なので、店内の老朽化が目立つことから、テナント事業者と対応について協議する。

・地域食材提供施設

施設使用者には、ここでしか味わえない料理の提供を求めており、名物料理が誕生することを期待する。

Ⅱ．令和6年度予算書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(241,100)	(231,860)
商品売上高	123,000	118,000
売上高(パン工房)	55,000	52,500
販売委託料	50,000	50,000
販売手数料	3,600	3,600
受取管理料	8,500	6,760
登録・会費収入	1,000	1,000
【売上原価】	(136,420)	(133,440)
期首棚卸高	560	1,287
商品仕入高	82,000	81,000
製品製造原価	54,420	52,440
合 計	136,980	134,727
期末棚卸額	560	1,287
売上総利益	104,680	98,420
【販売費及び一般管理費】	103,296	97,135
営業利益	1,384	1,285
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(2,805)	(5,086)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	2,305	2,305
急速充電器管理委託料	0	1,281
雑 収 入	500	1,500
【営業外費用】	(2,805)	(5,200)
営業外収入関係費用	2,805	5,200
営業外損益	0	-114
経常利益	1,384	1,171

(1) 販売費及び一般管理費内訳

単位：千円

科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	70	50
給料手当	40,000	37,000
賞与	12,000	10,000
雑給	500	100
支払報酬料	1,500	1,600
法定福利費	6,500	5,600
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	8,500	8,500
賃借料	50	50
修繕費	3,000	2,000
事務用品費	400	400
消耗品費	5,000	5,000
水道光熱費	6,000	6,000
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,500	1,000
租税公課	250	250
交際接待費	30	30
保険料	500	500
通信費	500	500
諸会費	200	200
広告宣伝費	500	500
新聞図書費	100	90
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	1,000	1,000
車輛費	300	300
研修会費	500	300
管理諸費	4,000	3,000
雑費	100	100
リース料	3,500	4,500
備品費	1,500	1,000
地代家賃	3,181	5,450
合 計	103,296	97,135

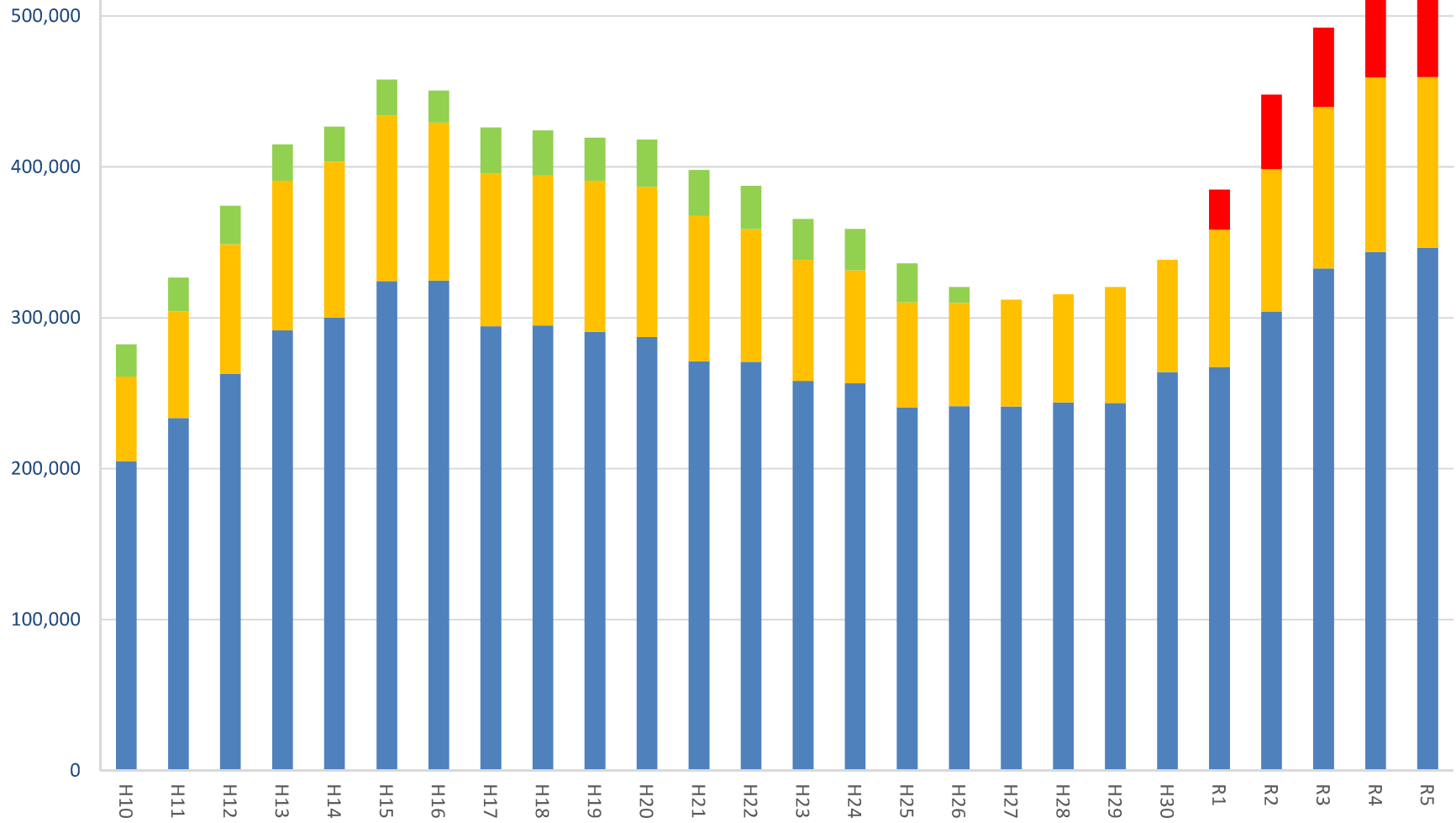
※科目間の流用を認める

(2) 製造原価報告書内訳

科 目	予算額	前年度予算額
		千円
【材 料 費】	(23,500)	(23,000)
期首原材料棚卸高	2,534	1,839
原 材 料 仕 入 高	23,500	23,000
小 計	26,034	24,839
期末原材料棚卸高	2,534	1,839
【労 務 費】	(20,950)	(19,150)
賃 金	15,000	14,500
賞 与	3,000	2,000
法 定 福 利 費	2,500	2,200
厚 生 費	450	450
【製 造 経 費】	(9,970)	(10,290)
水 道 光 熱 費	2,000	2,600
消 耗 品 費	2,000	1,800
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	600	600
修 繕 費	200	200
車 両 費	10	10
保 険 料	50	120
研 修 会 費	50	50
備 品 費	300	300
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	3,700	3,700
管 理 諸 費	400	300
諸 会 費	360	360
広 告 宣 伝 費	50	50
マ リ ン pay 費用	150	100
合 計	54,420	52,440

売上高の推移

売上高
(千円)



■ 農産物直売所

■ 特産品売場

■ レストラン

■ パン工房

【書式例 5-4】

令和 5 年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和 6 年 3 月 1 日 (3 回目)
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 市倉 勇樹 住 所 玉野市田井 2 丁目 4 4 6 4 番地
指 定 期 間	平成 3 1 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日 (5 年間)
担 当	電 話 0 8 6 3 - 3 2 - 0 1 1 5 E-mail miyama@m-y.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
昨年度に続き売上高 5 億円を突破し、来店するお客様の満足度も高評価である。賑わい創出のために始めた駅前マルシェやキッチンカー受け入れも、集客に繋がっている。 【前回の自己点検からの改善点】※2 回目以後の自己点検の場合 令和 6 年度から開始する 5 年間の指定管理に合わせて、地域食材提供施設の公募を実施した。3 月にプレオープンした店舗の、改装費用を一部負担して、経営が軌道に乗りやすくするサポートを行った。	A

■「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃に務めた。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法令遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、消火器等の保守点検をし、修繕を行った。防犯カメラを活用して、犯罪・万引き防止に努め、施設内の警備を強化した。玉野警察署と連携し、犯罪撲滅に努めた。 【財産の適切な管理】 老朽化した施設内備品は順次更新し、適切な使用や保守管理を行った。 【利用状況】 常に魅力的な売場になるよう運営をした結果、利用者が増えた。 【コスト削減への方策】 人材育成に勤め職場環境の改善を図ることで離職率が下がった。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
購買者の機会損失を少なくする売場作りを心がけた結果、施設の魅力が向上した。 【前回の自己点検からの改善点】 ※2回目以後の自己点検の場合 地域食材提供施設の利用者変更を行い、更なるサービス向上に努めた。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
売上高が8期連続で増えており、潤沢な資金力による余裕を持った経営をする事が可能になり、全てが好循環している。従業員への昇給を伴う還元も進んでいる。	S

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。